

第14回電気絶縁材料シンポジウム

開催にあたって

絶縁材料技術委員会
委員長 家田正之

電気絶縁材料シンポジウムも昭和43年以来、内外よりの多くの支援のもとに、順調に発展を続け、今度東京地区において第14回の会合を著名な国際的外国人招待講演者および討論者並びに日本人特別講演者および多くの優れた論文発表者と参加者を迎えて開催することになりました。ここに会議開催に至る準備・運営に対し、絶大なるご協力を賜りましたる絶縁材料技術委員会の委員・幹事諸氏および電気学会内の関係各位、とくに絶縁材料耐熱性試験法(委員長 金子 剛氏)、絶縁材料微小放電劣化(委員長 金指元憲氏)、絶縁材料直流・インパルスストリーミング(委員長 能登文敏氏)、固体絶縁物絶縁劣化判定試験法(委員長 福田 正氏)、絶縁材料の熱刺激電流と空間電荷(委員長 日野太郎氏)、絶縁材料放射線効果(委員長 矢作吉之助氏)の各調査専門委員会並びに電気学会事務局の関係諸氏に対し、厚く感謝の意を表する次第であります。

本シンポジウムは創設以来、一貫して『わが国電気絶縁工学における学術、技術の質的向上、基礎と応用の有機的結合、学際的色彩の強い電気絶縁工学の電気・電子・物理・化学・機械・情報・制御など広い分野にわたる専門家による総合工学としての発展、海外招待講演者・参加者との情報交換を通しての国際性の向上、次代を荷う若手研究者、技術者の育成など』の重点目標に向かって努力して参りました。これら成果は、過去13回の会議を通じての論文内容および参加者の質的・量的向上となって着実に具現化されているものと確信しております。

今回の会議には、外国人招待講演1件、日本人特別講演1件、特定テーマ8部門とポスターセッションに合計64件の論文発表が予定されており、その内容は電気絶縁工学の最先端を探求した国際レベルの優れた学術的・技術的成果を包含し、極めて高い文献的価値を備えているもので、会議日程も3日間にわたる比較的大規模なものとなりました。本年の会議の特徴の一つは、わが国で、この時期に開催されるCIGRE・SC-21(ケーブル)委員会に世界各国より来日される多くの研究者・技術者と、最近のトピックの一つである「水トリー現象」について、特定部門の一つとして、わが国の研究者との間で、英語によるワークショップを設定し、討議の場を提供したことであります。勿論、外国人特別講演者以外の日本人をも含めた外国語のみによる発表と討論は、本シンポジウムにおける最初の試みであり、本会合の国際性と、質的内容の高さをもってすれば、必ずや有益なる成果を得ることが出来るものと確信しており、同時に、若手研究者の将来に極めて強烈な印象を与えうることも強く望んでいる次第であります。これらワークショップの設定に関しましては、諸外国CIGRE・SC-21委員各位との諸連絡と、その実現に御援助を賜ったCIGRE・SC-21日本国内委員会、委員長・細川宏一氏に厚く御礼申し上げます。

一昨年より開始した提出全論文の英文アブストラクトの諸外国の主要な関連研究機関への送付は、積極的なわが国電気絶縁レベルの各国への紹介と、その相互理解に有効に機能しているものとして好評をえており、本年も引続いて実施する所存であります。更に、関連調査専門委員会の活動報告を掲載し、参加者各位のこれら関連委員会活動のご理解の一端に供させていただきます。

今年の日本人特別講演者として、本シンポジウム発足当時の旧電気材料技術委員会・委員長で電気絶縁材料分野におきますわが国の先駆者であり、学術および教育の多くの分野にわたって優れたご業績を挙げておられる東京大学名誉教授・鳳 誠三郎先生をお迎えすることが出来ました。ご多忙な日程のなかを当委員会の招待をご快諾いただき厚く御礼申し上げます。

内外における難かしいエネルギー問題に関連して、わが国の電気絶縁工学の現状と将来には多くの解決すべき学術的・技術的問題が山積しております。これら課題の解決に本シンポジウムの果す役割は一段と重要になりつつあることを痛感しております。これら主旨をご理解いただき、参加者各位におかれましても、会議を通して積極的に意見交換にご参加いただき、より有意義なる会議への成長を念願するものであります。何卒よろしくご協力の程をお願いする次第であります。

第14回シンポジウム開催に当り、種々尽力された絶縁材料技術委員会構成員の諸氏は下記の通りであります。

〔幹事〕 日野太郎、田中祀捷

〔1号委員〕 相原 貢、一色節也、岡本英夫、見城 享、武 祐一郎、蓬郷章郎、
内藤克彦、西松峯昭、沼尻文哉、平林庄司、藤田英夫、松葉博則、
宮下隆雄、安井貞三

〔2号委員〕 金子 剛、金指元憲、能登文敏、福田 正、日野太郎、矢作吉之助

〔幹事補〕 夏目文夫、新田義孝

また外国人講演者招待と英語によるワークショップ設定に関し、御協力頂いた下記の関係各社に厚く御礼申し上げます。

昭和電線電纜株式会社、住友電気工業株式会社

大日本電線株式会社、東京芝浦電気株式会社

株式会社 巴川製紙所、日新電機株式会社

日本碍子株式会社、株式会社 日立製作所

日立電線株式会社、株式会社 富士電機総合研究所

藤倉電線株式会社、古河電気工業株式会社

松下産業機器株式会社、三菱電機株式会社

株式会社 明電舎

(五十音順)

ポスターセッションとは

今回11件の発表がポスターセッションとなっています。

これは発表者が、主要な研究成果のビラを用意し、それぞれ関心のある小人数の参加者の前で質疑応答を中心に研究発表するもので、参加者と発表者が深く討論出来ることを特徴としています。奮って討議に参加されることを切望します。